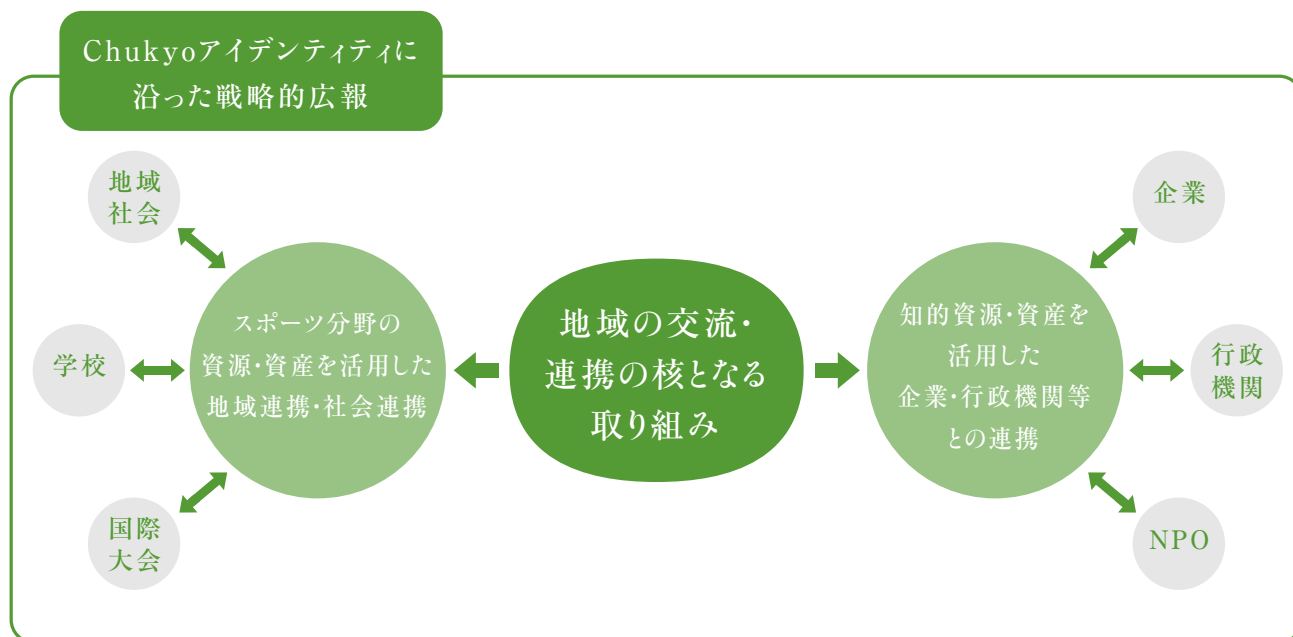


Ⅷ 社会連携

「社会連携」の基本方針

中京大学の特長を再認識するとともに、知的資産、資源を再整理することにより、本学らしい社会貢献の在り方を検討していく。

本学の独自性を活かした活動を通じて、学術の涵養と地域の生活文化の向上、産業の振興などに貢献する。とりわけ、中部圏、愛知県、名古屋市、豊田市を中心とした地域の交流・連携の核となる取り組みを強化する。また、これらを実行するための体制を整える。



推進事項1

Chukyoアイデンティティに沿った戦略的広報と社会連携を推進するための組織再編

本学はこれまで大学広報や社会連携に関して広報部・エクステンション事務室・スポーツ振興室・リエゾンオフィスなどを中心に行ってきた。しかし、各部署が相互に連携し、方向性を同じくして情報発信や社会連携を行ってきたとは言い難い。また、保有する知的資産や資源を大学全体として活かしかれていない。

今後は組織を再編し、本学の特長を再認識して、Chukyoアイデンティティをより明確にしていくとともに、統一した概念に基づいた情報発信を強化していく。また、本学の独自性を活かした社会貢献をしていくとともに、検証する体制を整える。

施策

- ① 既存部署を再編し、統括的部署の設置を検討
- ② Chukyoアイデンティティの確認と再考
- ③ Chukyoアイデンティティに沿った情報発信の強化

推進事項2

スポーツ分野の資源・資産を活用した地域連携、社会連携の実施

本学はこれまでスポーツ分野における資源・資産を活用して地域スポーツへの貢献に努め、指導も行ってきた。これは本学の特色であり、この分野においては社会的な認知度も高い。また大学、小・中・高等学校の体育関係の教員が多数輩出しており、全国で活躍している。

これらの特色をさらに活かし地域貢献を進めていく。

施策

- ① 豊田市を中心としたスポーツ教室の推進
- ② 小学生・中学生・高校生向けのクラブ活動指導員の派遣やスポーツ大会の実施
- ③ 国際的なスポーツ大会への大学生ボランティアの派遣

推進事項3

知的資源・資産を活用して製造業をはじめとした企業、中部圏、愛知県、名古屋市や豊田市などの行政機関との連携実施

本学はこれまで企業との連携による社会への知的貢献、行政機関・NPOとの連携による地域貢献に努めてきた。しかし、学部間の連携を活用するなど、総合大学の強みを活かさきれていない。

今後は総合政策学部や工学部を擁する総合大学の強みを活かし、知的資源・資産を活用して、製造業をはじめとした企業、中部圏、愛知県、名古屋市や豊田市などの行政機関との連携を深めていく。

施策

- ① 工学部研究室と製造業との社会実験実施などの連携
- ② 社会科学系学部による行政・NPO・企業との連携
- ③ NPOなどへの大学生ボランティアの派遣

